

研究分野	資源評価	部名	資源開発部
研究課題名	重要魚類モニタリング調査（底生魚魚類資源動向調査）		
予算区分	県単		
試験研究実施年度・研究期間	H19～H23		
担当	大水 理晴		
協力・分担関係	（独）東北区水産研究所八戸支所		

〈目的〉

本県周辺海域の重要水産資源である底魚類の分布状況や発生状況を継続的・定期的にモニタリングすることにより、精度の高い漁況予測と資源診断に必要な情報を収集、資源の安定的な確保に資する。

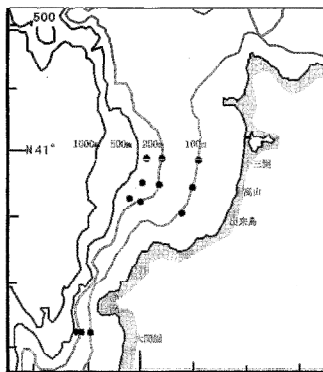
〈試験研究方法〉

日本海、津軽海峡及び太平洋海域において34ヶ所の調査点を設定し、青鵬丸（青森県水産総合研究センター試験船65トン1000PS）により、2007年4月～2008年1月にかけて網口約2mのオッタートロールを使用して引き網時間約30分の調査を実施した。特に太平洋での10月～11月は「ヤリイカ漁況予測」に、日本海での11月～翌年1月はハタハタ資源状況把握に用いた。

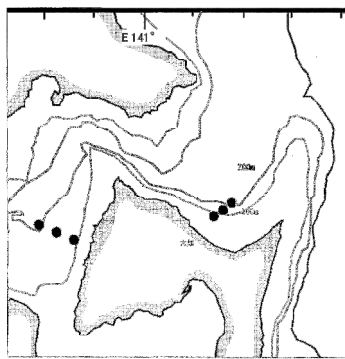
曳網面積は実測値に近づけるため0.01km<sup>2</sup>当たりの現存量とした。

○調査地点図

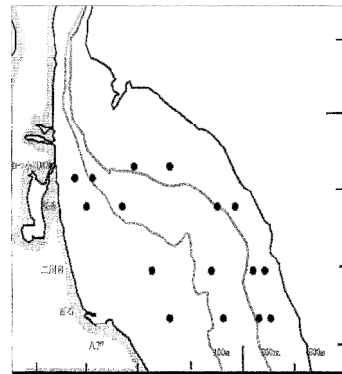
下図で右から日本海、津軽海峡、太平洋調査地点図



重要魚類資源モニタリング調査に係るオッタートロール調査地点図（日本海）  
調査水深は浅い方より、十三間、高山、岩島、岩島沖100・300・500m



重要魚類資源モニタリング調査に係るオッタートロール調査地点図（津軽海峡）  
調査水深は浅い方より、大船、佐井沖は100・150・200m



重要魚類資源モニタリング調査に係るオッタートロール調査地点図（太平洋）  
調査水深は浅い方より、八戸沖、岩島沖、飯盛沖、むつ小川原沖沖線  
70・100・200・300m

〈主要成果の具体的なデータ〉

○2007年度実施調査地点

オッタートロール調査・・・全64点

日本海・・・5月・11点、11月・14点、12月・1点、1月・5点　計31点

日本海：11月・1月、ハタハタ分布調査

津軽海峡・・・7月・7点、9月・8点　計15点

津軽海峡：9月・イカナゴ成魚分布調査

太平洋・・・7月・11点、10月・7点　計18点

太平洋：10月・ヤリイカ未成体分布調査

○ オッタートロール調査結果

表1 オッタートロール調査結果

太平洋				津軽海峡				日本海①				日本海②			
月	標準水深	目	計	月	標準水深	目	計	月	標準水深	目	計	月	標準水深	目	計
7	50	アンコウ	636	7	150	アンコウ	6800	5	50	アンコウ	8600	11	150	アンコウ	2048.27
		エイ	12100			エイ	15800			カサゴ	356.9			エイ	1000
		カサゴ	5045			カサゴ	4125			カサゴ	3729.84			カサゴ	14569.11
		カレイ	1222			カレイ	8838			サケ	563.6			カレイ	713.18
		コウイカ	52			サケ	12500			スズキ	20.3			コウイカ	236.66
		サケ	1987			スズキ	46			ツツイカ	242.6			サケ	3396.03
		ツツイカ	1076			ツツイカ	9869			ツツイカ	4200			スズキ	31968.06
		ツノサメ	97300			ツノサメ	14000			ニシン	27.2			ツツイカ	3631.19
		ニシン	27			ノコギリザメ	12500			ネコザメ	2200			ニシン	27.22
		フグ	1946			フグ	284			メジロザメ	22000			フグ	5815.88
		メジロザメ	18336			メジロザメ	14800			アズロ	41.6			メジロザメ	72023
		カサゴ	12022			ハシロ	3500			アンコウ	2101.6			メジロザメ	8200
		カレイ	410			アンコウ	5400			カサゴ	8793.2			カサゴ	10609.72
		コウイカ	104			エイ	2900			カレイ	6833.81			カレイ	31175
		サケ	97			カサゴ	201			コウイカ	24.8			コウイカ	39.92
		ツツイカ	5			カレイ	32378			サケ	5507			スズキ	112.08
		ツノサメ	2962			カレイ	73.34			タラ	4177.5			スズキ	6660.53
		ニシン	41000			スズキ	66			タラ	31.89			ツツイカ	4004.34
		メジロザメ	3			タラ	64702			ツツイカ	14481			コウイカ	2.33
		カサゴ	13940			ツツイカ	3700.56			ツノサメ	1652.9			ハシロ	1898.78
		カレイ	549			ノコギリザメ	5000			ネコザメ	0			エイ	5000
		コウイカ	318			メジロザメ	9800			フグ	332.8			カサゴ	4018.97
		サケ	357			ワトカギ	3			マトウダイ	739.8			カレイ	1880
		スズキ	242			ワトカギ	5			メジロザメ	4503.8			スズキ	8109.2
		タラ	130745			ハシロ	80			口副	17.3			タラ	13967.1
		ツツイカ	1864			アンコウ	1400			ハシロ	6000			ツツイカ	1400
		ツノサメ	36000			カサゴ	2200			ハシロ	31.5			ハシロ	2432.08
		ツノサメ	369			ツツイカ	4500			カサゴ	301.41			カサゴ	8207.69
		マトウダイ	77			ツノサメ	200			カレイ	261.98			カレイ	2251.02
		メジロザメ	2400			メジロザメ	165000			コウイカ	33.6			スズキ	24438.59
		ハシロ	500			ハシロ	784			スズキ	40188.17			ツツイカ	500
		カサゴ	333			エイ	29000			タラ	3317.7			ハシロ	2500
		カレイ	15			カサゴ	500			ネコザメ	3000			(空白)	100000
		コウイカ	6			スズキ	1568.1			メジロザメ	3000			アンコウ	12913
		サケ	5			タラ	19			ハシロ	12590			カサゴ	52835
		スズキ	236716			ツツイカ	1770			カレイ	4112.8			カサゴ	4537
		ツツイカ	315			ツノサメ	27100			コウイカ	2025.9			カレイ	41.9
		ニシン	1864			ハシロ	9000			スズキ	28.8			スズキ	345.5
		メジロザメ	53			メジロザメ	46800			タラ	3957.7			ツツイカ	1291.8
		ハシロ	466			カレイ	200			ツツイカ	18761.2			ツツイカ	2652.8
		カサゴ	4500			ツツイカ	4000			ツノサメ	3957.7			タラ	10000
		カサゴ	1340.08			ツノサメ	5000			十郎	2.6			フグ	301
		カレイ	118.74											カサゴ	11895.6
		サケ	68.92											カレイ	212
		スズキ	130.8											コウイカ	16.3
		タラ	1833											スズキ	1035.2
		ツツイカ	5995.79											タラ	1466.6
		フグ	4600											ツノサメ	2423.3
		マトウダイ	298.72											メジロザメ	464
		ハシロ	76.45											ハシロ	1
		(空白)	2200												
		エイ	4500												
		カサゴ	798.04												
		カレイ	558.94												
		サケ	16.33												
		ツツイカ	8086.42												
		コウイカ	170.56												
		ヨロシウ	13.26												

○ ヤリイカ未成体分布調査結果（太平洋 10月）

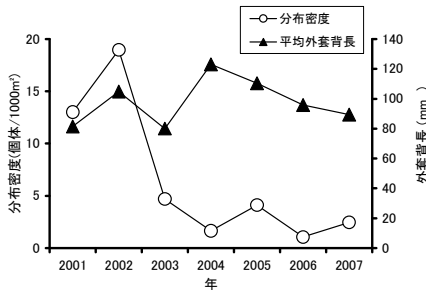


図1 ヤリイカ未成体の分布と外巻背長の経年変化

○ ハタハタ分布調査結果（日本海 11月、12月、1月）

調査年月日	調査場所	水深(m)	ハタハタ個体数(尾)		
			オス	メス	合計
2007.11.7	つがる市出来島沖	106	0	0	0
		202	1	0	1
		280	88	23	111
2007.11.9	深浦町岩崎沖	120	0	0	0
		144	0	0	0
2007.11.14	つがる市高山沖	200	0	0	0
		287	44	7	51
合計			133	30	163

調査船舶：試験船青鵬丸、曳網時間：17~42分

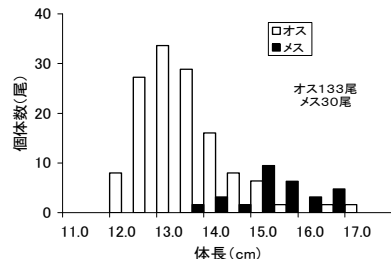


図2 採集されたハタハタの雌雄別体長

〈今後の問題点〉

魚体の調査項目について検討する必要がある。

〈次年度の具体的計画〉

今年度と同様

〈結果の発表・活用状況等〉

平成19年度日本海漁業者協議会でハタハタ調査結果について発表。

平成19年度東北ブロック底魚研究連絡会議にてスケトウダラとマダラの結果を報告。

新深浦町漁協岩崎支所・鱈ヶ沢漁業協同組合でのヤリイカ・ハタハタ勉強会で発表。

日本海地区の漁業協同組合にヤリイカ分布調査結果、漁況予測を発表。

(2007. 11. 7、11. 9、11. 14)

